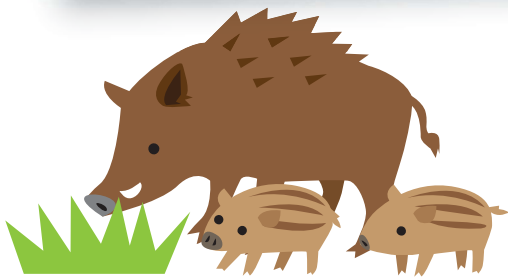


イノシシに出会ったら



●イノシシを刺激しない

イノシシは臆病な動物なので、こちらから何もしない限り突然おそってくることはありません。
見かけても刺激を与えず、興奮させないことが大切です。

●ゆっくり後ずさり

背中を見せずにゆっくりと後退し、静かにその場から離れましょう。

●近づかない

イノシシの子ども(ウリ坊)を見かけても、かわいいからと近づいたり追いかけたりしないようにしましょう。
ほとんどの場合は近くに母親がいて子どもを守るために攻撃してきます。



●犬の散歩に注意

至近距離で遭遇したり、犬が吠えたりすると、猟犬と勘違いして襲ってくる場合があります。身の危険を感じた時は、いったんリードを離して避難してください。

⚠️ 万が一襲ってきても決して反撃せず、建物や車に避難して、安全を確保する。

人に馴れさせないために



●イノシシの餌場を作らない

家庭菜園や田畑の周りに野菜くずや果物を放置しないでください。
イノシシが餌場として覚えてしまいます。

●防護柵などの設置

防護柵や塀の設置は、侵入防止の有効な方法です。

●ごみステーションの管理

ごみステーションは、人間の食べ物に味を占めたイノシシには栄養豊富な餌場です。荒らされないようにごみ捨てルールを守って、地域で工夫して防止しましょう。

●早朝や夕方暗くなってからの外出をできるだけ控え、森や茂みに近づくときは懐中電灯や音が鳴るもの(鈴など)を携帯するようにしましょう